令和８年11月発行 第88号 発行：京都府立林業大学校（隔月発行）

京林大だより

No.88



絵：卒業生 熊走君

就業に向けたキャップストーン研修を実施



伐木・造材や林業機械の運転など様々な実務研修を受ける林大生

研修後の学生の声

- 林業の現場で必要となる知識や技術、安全管理の大切さを学ぶことができた。
- 森林施業プランナーの業務について、実践的に学ぶことができた。
- 自身の技術の向上が目に見えてとても嬉しかった。
- 仕事をするときの心構えを知ることができた。
- チーム全体の作業効率化のために、次の作業を考えて動く大切さを知った。

京林大のキャップストーン研修は、実践的な能力の養成と実社会への適応力の向上のために行います。２年生が、府内外の事業体（１人２事業体）にお世話になり、各１ヶ月間（計２ヶ月間）の実習を受けます。

本年は、府内外の１５事業体（森林組合、民間林業事業体、教育機関など）にお世話になり、各事業体の方々の御指導のもと、様々な実務作業や社会人としての規範等を学ぶことができました。

研修前半、慣れない環境で緊張気味だった学生たちも、研修後半に差し掛かるにつれ落ち着いた表情になり、頼もしさを感じさせるまでになりました。研修後は、技術面や仕事に対する心構えなどの課題を解決するべく、決意を新たにしていました。

また、研修で得られたことを報告会で発表し、１年生は次年度に向けた意識の醸成に、２年生は就職先の検討に向けた情報共有を行いました。

研修生を受け入れていただきました事業体の皆様におかれましては、大変お世話になり誠にありがとうございました。

「第11回林大祭」開催

日頃お世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、「**第11回林大祭**」を開催いたします！

大人気のクリスマスリース作り教室や森林アスレチックをはじめ、学生が山で伐採した木を使った丸太イスやまな板などの木工品の販売も行います。

京林大の授業や実習で指導いただいている京丹波森林組合の「木のたまごづくり」もクリスマスリース教室のお隣で体験できます。

その他、丸太切り体験、積み木遊びやボーリングコーナーもあり、小さなお子様も楽しめます。

林大卒業生の同窓会や近隣からの飲食ブース出店、キッチンカーもお楽しみに！

みなさまのご来場をお待ちしております。

- 日時：12月６日（日）10時～15時
- 場所：京都府立林業大学校



クリスマスリース



木工品販売

今月の授業参観

「森林科学実習」（１年生）

9月28日～10月22日、１年生が班に分かれて４つの科目を履修する「四つ葉型濃密実習」に取り組みました。本実習は少人数体制で、学生一人一人がより濃く学ぶことを目的としています。

その科目のひとつ「森林科学実習」では、全国レベルの植生調査を模擬的に体験する「模擬森林モニタリング調査」と、スギを伐倒して丸太円盤を採取し、その年輪を数えて木の成長の様子を調べる「樹幹解析」を実施しました。

どの班も全体を通してしっかりと取り組み、最終日には細かな年輪数えに苦戦しつつも樹幹解析図を書き上げ、チームで協力して最後までやり切る力を高めることができました（ただし「年輪は二度と数えたくない！」とのことですが…）。



【左】双ヶ丘（京都市右京区）にてH30台風被害跡地の植生を調査。樹種や胸高直径、樹高を記録します。



【右】１本のスギからたくさんの丸太円盤を採取！
この後、大変な年輪数えの作業が待っています。

校長室より

校長　大下 起代

10月中旬、京都府立大学へ赴き、社会科学部公共政策学科の「公共政策特殊講義Ⅰ」で講義を行いました。

この講義は、府立大学と協定を締結している自治体等の職員が講師となり、所管分野の主要施策や実務経験を紹介することで、求められる公共人材像への理解を深めることを目的とした２回生対象の授業です。

講義では、まず、府の森林・林業の現状について説明したうえで、府の施策、とりわけ林業大学校における担い手育成の取組について紹介しました。府域の約４分の１を森林が占めていることや、林業行政が関わる面積が、他部局と比べて極めて広大であること、また、その大半が所有界の複雑な民有林であり事業化に多くの課題を抱えていること、さらに森林の水源涵養等の公益的機能を貨幣換算すると年間約70兆円に及ぶことなどを説明しました。

学生からは、「森林の循環利用を進めるには、木を育てるだけでなく、林業の担い手を確保し、木材を有効活用する仕組みづくりが重要だと理解できた」、「山を守るためには、行政と民間企業、山主の間に立って調整する人材が必要だと分かった」、「森林の価値に対する認識が広まり、公共人材が増える社会になってほしい」といった感想が寄せられました。

林業大学校では、２年生から「林業専攻」と「森林公共人材専攻」に分かれます。公共専攻では、府立大学公共政策学科の講義も受講しながら多様な主体と連携して森林・林業を取り巻く公共的課題の解決に取り組む力を身に付けています。今回の講義を通じて、これまで森林・林業との関わりが少なかった学生の皆さんに、森林・林業の大切さ、立ちはだかる課題、現場が抱える苦労、課題解決の鍵を握る人材育成の重要性について理解を深めていただくことができました。また、学生ならではの率直な意見や感想に触れ、改めて森林・林業を社会全体の課題として伝えていく必要性を実感する機会となり、大変有意義な講義となりました。

なお、こうした実践的な人材育成は、多くの現場の皆様のご支援によって成り立っています。２か月間にわたる２年生のキャップストーン研修で懇切丁寧にご指導いただきました森林組合及び事業体の皆様に、心よりお礼申し上げます。

編集・発行　京都府立林業大学校　〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄１　TEL.0771-84-2401　FAX.0771-84-0797
ホームページ：https://www.pref.kyoto.jp/kyorindai/　E-Mail: kyo-rindai@pref.kyoto.lg.jp